

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・音楽における表現技能を一人ひとり体得できるよう、音楽の基礎基本の学習をした。
- ・歌唱における腹式呼吸や発声の仕方を学習した。
- ・協働的な音楽活動を行うことができた。

(2) 課題

- ・発声指導を通して歌唱における発声が定着するようにする。
- ・楽曲ごとに、音楽表現に必要な技能および知識を会得させる。
- ・知識として学習したことを音楽表現に活かせるようにさせる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造（音楽記号）との関わりについて理解させる。 創意工夫を活かして演奏する基礎的な技能を身に付けさせる。	音楽を形づくっている要素や、その関連を知覚し、雰囲気を感じながら鑑賞できるようにする。 自分なりの考えを相互に発表しあい、他の考えに触れることで、音楽表現を工夫させる。	主体的、協働的に、歌唱及び器楽の学習活動に取り組みさせる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造との関わりについて理解させる。 創意工夫を活かして演奏する技能を身に付けさせる。	音楽を形づくっている要素や、その関連を知覚し、雰囲気を感じながら鑑賞できるようにする。自分なりの考えを相互に発表しあい、他の考えに触れることで、音楽表現を工夫させる。	主体的、協働的に、歌唱及び器楽の学習活動に取り組みさせる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、表現させる。 創意工夫を活かして演奏する技能を身に付けさせる。 表現に必要な発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付けさせる。	音楽を形づくっている要素や、その関連を知覚し、雰囲気を感じながら鑑賞できるようにする。自分なりの考えを相互に発表しあい、他の考えに触れることで、音楽表現を工夫させる。	主体的、協働的に、歌唱及び器楽の学習活動に取り組みさせる。また、音楽における発展的な学習を取り入れることで、より関心を高め、学習内容を深い所まで理解できるよう意識付けさせる。